

全国からボランティア250人が参加 仙台でボランティア全国大会と総会を盛大に

全国協議会 ニュース

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:笠原 慶一
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655



今年「広げよう、愛といのちのネットワーク」をスローガンに、18日は仙台市福祉プラザで「2002全国骨髄バンクボランティアの集い in 仙台」が行われました。この日のために、全国から250人のボランティアが参集し、地元仙台の一般市民を加えて、350人収容の会場はほぼ満員の盛会となりました。

第1部は「式典」で来賓などの挨拶と感謝状の贈呈が行われました。第2部はスローガンを冠した講演とトークで、元国立仙台病院ウイルス研究所長の沼崎義夫氏による記念講演と、仙台のちのちの電話の門脇允元氏、骨髄移植体験者の志賀としえ

氏、宮城の会理事長の吉永馨氏が加わったトーク「つなぐれ! いのち、宮城からの発信」がありました。司会を宮城のボランティア橋本俊一氏(東北放送アナウンサー)が担当しました。

第3部は会場を近くの五橋会館に移して懇親会がありました。懇親会にはいつも宮城の会の活動に協力をいただいている歌手の佐藤幸幸さんも加わって楽しい時間となりました。

翌19日は朝から全国協議会の2002年通常総会が開かれ、前年度の事業報告と決算、今年度の事業計画と予算案が審議され、満場一致で承認となりました。

なお、来年は神奈川県で開催されます。



ユーモアたっぷり浅野史郎宮城県知事の祝辞



「宮城の会から」
杜の都・仙台も18日はあいにくの雨でしたが、地元宮城を除いて全国から140人あまりのボランティアが参集して、一般の入場者も含め仙台市福祉プラザの会場はいっぱいになりました。

私たちの準備は昨年のまだ寒い頃から始まりました。みんなできるかで大いに話し合いました。地方から、全国に向かって何が発信できるかを考えることとで悩みました。

「神奈川の会から(来年開催地)」
来年のボランティア大会を神奈川で開催することになりました。全国設立3周年記念大会以来10年ぶりです。あの頃、加盟団体は18団体、骨髄バンクも2年目で、よりよい骨髄バンクを目指して走り続けた10年ということになります。加盟団体も増え、全国各地で地域の特質を活かして展開されている活動には刺激されています。

来年に向けて実行委員が決まり、具体的な準備が始まりました。一人でも多くの患者さんを救いたいとの想いは今も同じです。中華料理だけではなく、骨髄バンクの充実と患者さんの支援となるようなメッセージを神奈川から発信したいと思っています。(黒部)



記念講演で「ザンビアは飢饉とエイズの国、でも子供たちの笑顔は明るい」と語る沼崎義夫氏



ボランティアのそっくりさん(栃木の栗本さん)と「青葉城恋唄」を熱唱する佐藤幸幸さん(右)

最新医療情報 その⑦

海外バンクドナーからの移植の現状

現在日本には、骨髄バンク、臍帯血バンクとすばらしいシステムがありますが、それでも移植の適応とならない患者さんもおられます。そのような人がなんとか移植できるように外国の骨髄バンクから骨髄をいただけるシステムがあります。

現在、骨髄移植推進財団(日本骨髄バンク)が正式に提携している国が、アメリカ、台湾、韓国など数カ国あり、それぞれ、450万人、20万人、2万人以上のドナー登録者がいます。台湾、韓国はアジアであり民族学上近い関係のため多くのHLA適合者がみられます。アメリカには日系、アジア系人種が相当数いますから、HLA適合の可能性は期待できます。

実際、2002年3月までにアメリカへHLAの適合検索を576件したうち402件は適合者が存在しました。そのうち84件の骨髄が骨髄バンクを通じて、日本の患者に提供されました。同様に、台湾にはHLA適合検索を415件したうち88件適合者が存在し、16件の移植が行われました。韓国には予備検索システムがないので144件の正式登録があり26件適合者が存在し、7件の移植が実現しました。

「海外バンクドナーからの移植」は、今では多くの患者さんに期待される治療方法の一つとなっています。ただ、外国からの骨髄を扱うために移植病院、金銭の制約もあります。

海外からの骨髄造血幹細胞はHLAは一致していても、マイナー抗原が全く異なることも多く、GVHDなどの対処が困難なこともあります。そのため、移植経験が豊富で輸送しやすい立地の病院が「国際移植施設」に選ばれています。かかりつけの血液内科が国際移植施設でなければ、病院を変えることになります。

また、金銭面の負担が大きいのも問題です。諸経費を入れて、実費で300~400万円追加料金が発生します。保険が効かないため患者さんには大変な負担となります。このあたりが、今後検討されるべき課題と考えます。

最近では、東京臍帯血バンクも海外の施設と協力体制を整えつつあり、2002年5月にも日本青年会議所医療部会の協力のもと、ベトナムに臍帯血を2件輸送し提供しました。今後も国際協力の輪は広がっていくものと期待しています。

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●4月の登録会。月間ドナー登録者数19カ月連続前年同月上回る
4月のドナー登録者数は1578人で、取消者数は466人、実質増加数は1112人という実績でした。登録会は37回実施され(うち献血併行型30回)、合計564人の方にご登録をいただきました。都道府県別の登録会の開催数は、沖縄8回、兵庫7回、東京3回、新潟、岐阜、福岡、鹿児島、福島2回、岡山、埼玉、宮城、三重、山口、秋田、福井、京都、栃木が1回でした。

●厚生労働省、造血幹細胞移植委員会を設置。推進のための審議に期待
厚生労働省は、医療技術の進歩や医学的知見の蓄積などによる状況の変化をふまえ、骨髄移植、さい帯血移植、末梢血幹細胞移植など多様化する造血幹細胞移植の推進を図るため、本年3月、厚生科学審議会疾病対策部会に「造血幹細胞移植委員会」(委員長:齋藤英彦国立名古屋病院院長)を設置しました。委員には医療関係者、法律家、マスコミ関係者など、各分野からの有識者16人が委嘱され、今後1年にわたり、従来の取り組みの評価を行ったうえで、ドナー登録者数の目標達成の困難さや関係団体が財政的に逼迫するなどの問題への対応や対策について審議していきます。

●hideメモリアルディ。4周忌に「ヒデミュージアム」で追悼イベント
4年前に急逝した「X JAPAN」のメンバー、hideさんの命日にあたる5月2日(火)、「hideミュージアム」(神奈川県横浜須賀町)で「メモリアルデー」

の追悼イベントが開かれました。この日だけ限定の未公開の衣装なども展示され、会場は多くの人で賑わいました。hideさんは、先天性代謝異常の病を抱えていた貴志真由子さんとの交流をきっかけに、1996年8月に骨髄ドナー登録。「言葉じゃうまく言えないから、行動するだけ」というhideさんの言葉は若い世代の共感を呼び、ドナー登録者の増加につながりました。

●財団の中央事務局および関東事務局、5月7日より下記に移転しました
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3丁目19番地
廣瀬第2ビル 7階
電話:03-5280-8111(代表) FAX:03-5280-0002(代表)
患者問い合わせ窓口 03-3296-8699
(フリーダイヤルは変更ありません。部署ごとの直通回線については個別にお問い合わせください)

●財団各種委員会、今後の開催予定。基本的に公開、傍聴可能です
財団では今年度より、委員会規程等の改正により各種委員会を基本的に公開とすることにしました。ただし、情報管理上問題のある事項を審議する場合は非公開となります。傍聴をご希望の方は事前に財団事務局までお問い合わせいただき、お申込みください。

| 公開・非公開 | | 開催予定 |
|-----------------|-----|-------------------------------------|
| 理事会・評議員会 | 公開 | 6/28 15:00~ |
| 財務・運営特別委員会 | 公開 | 5/22 16:00~、5/28 15:00~、6/19 15:00~ |
| 企画管理委員会 | 公開※ | 5/25 13:00~、6/14 17:00~ |
| 普及広報委員会 | 公開 | 7/26 18:00~ |
| コーディネーター委員会 | 未定 | 6/30 13:00~ |
| ドナー安全委員会 | 非公開 | 6/29 |
| 医療委員会 | 公開※ | 6/8 |
| 事業評価委員会 | 未定 | 未定 |
| 倫理委員会 | 未定 | 未定 |
| PBSC開始判断に関する委員会 | 公開 | 未定 |

(※は一部非公開)

| ●日本骨髄バンクの現状(2002年4月末現在) | | | |
|-------------------------|-------|---------|---------|
| | 4月 | 現在数 | 累計数 |
| ドナー登録者数 | 1,578 | 153,469 | 189,415 |
| 患者登録者数 | 135 | 1,755 | 12,441 |
| 骨髄移植例数 | 63 | - | 4,076 |

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

骨髄バンクNOW

心からのご寄付を ありがとうございました

4月23日～5月20日

| | | |
|------------------|----|----------|
| 切明 隆 | 現金 | 10,000円 |
| 匿名 | 切手 | 3,375円 |
| 榎方美智子 | 切手 | 585円 |
| 中西健治 | 現金 | 5,000円 |
| 鈴木純子 | 現金 | 1,340円 |
| 白相浩二 | 現金 | 10,000円 |
| (株)多田屋Musicサンピア店 | 現金 | 10,000円 |
| 小川栄子 | 現金 | 10,000円 |
| イオン株式会社 | 現金 | 30,000円 |
| 笠田和代 | 現金 | 10,000円 |
| 北海道骨髄バンク推進協会札幌支部 | 現金 | 10,000円 |
| 田畑健雄 | 現金 | 1,000円 |
| 浅井みえ子 | 現金 | 1,000円 |
| 宇賀神紀子 | 現金 | 30,000円 |
| (株)タクトコーポレーション | 現金 | 30,000円 |
| ヤマダヤスヒロ | 現金 | 9,475円 |
| 神田豊子 | 現金 | 1,000円 |
| 川越初雁ライオンズクラブ | 現金 | 100,000円 |
| 青梅青年会議所 | 現金 | 80,000円 |
| 南雲正一 | 現金 | 8,000円 |
| 伊勢原ライオンズクラブ | 現金 | 50,000円 |
| 加須レディースアソシエーション | 現金 | 30,000円 |
| 行田ライオンズクラブ | 現金 | 30,000円 |
| 匿名 | 現金 | 2,000円 |
| いがた・骨髄バンクを育てる会 | 現金 | 35,464円 |
| 岡崎市立甲山中学校 | 現金 | 13,177円 |
| ●佐藤さち子患者支援基金 | | |
| 切明 隆 | 現金 | 10,000円 |
| 北海道骨髄バンク推進協会札幌支部 | 現金 | 50,000円 |
| 北海道骨髄バンク推進協会帯広支部 | 現金 | 57,752円 |
| 神奈川骨髄移植を考える会 | 現金 | 100,000円 |
| ●白血病患者支援基金・募金箱 | | |
| 北海道骨髄バンク推進協会札幌支部 | 現金 | 30,000円 |
| 村上順子 | 現金 | 3,160円 |
| クスのアオキこばとの会 | 現金 | 119,375円 |
| ラウンジ青山 | 現金 | 6,792円 |
| リリオ・モンタナ | 現金 | 2,608円 |
| モンキーヒル | 現金 | 2,866円 |
| カットスタジオ・ガイ | 現金 | 2,649円 |
| BAR曼陀羅 | 現金 | 12,591円 |
| ビタミンドラッグサニーロード店 | 現金 | 2,642円 |
| | | (敬称略) |

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

5月16日、函館大谷高校体育館で全校生徒430人に映画「いのちのあさがお」を見てもらう機会を得ました。「お釈迦様の誕生をお祝いし、命の尊さと生きる喜びを確かめる集い」という副題の付いた「花祭り」式典のプログラムの中に組み込まれてもらったものです。



式典には、函館協議会の評議員で骨髄提供者である田中幸憲さんと私が出席し、大谷高校理事長をはじめとする役員に続いて、供華・灌仏(花御堂の周りに花を手向け、天上天下唯我独尊を表わすお釈迦様の像にひしゃくで甘茶を振り掛ける)を致しました。

さて、第2部でビデオ映画を

上映し、その後「映画の中に出てきたアサガオの種を新潟から取り寄せますので、皆さんも待っていて下さい」と全校生徒にお約束いたしました。

その後、田中さんの骨髄提供

函館 「花祭り」で上映

いのちのあさがお

各地の たより

各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

体験談があり、患者さんからの手紙を読み上げました。5年前に提供して、今生きていれば、ちょうど皆さんと同じくらいの年代です、高校2年生になっているはずですが、という、高校生たちはホロリとしていたようです。(松永)

福島 行政との連携で 年間千人の登録も

福島県内の平成13年度のドナー登録数は770名でした。平成12年度が343名ですから、2倍以上の伸びです。

その内訳は通常窓口登録259名(33.6%)、集団登録157名(20.4%)、献血併行登録354名(46.0%)です。ちなみに登録会の回数は26回、集団4回、献血併行22回です。

岡山では昨年10回実施された県内登録会の年間登録者数は363名でした。その中でも、毎回40名以上の登録者があり、年齢層の若い人が集まるイオン倉敷での登録会が4月14日行われました。

岡山の会からは、小学生の女の子3人を含む15人のボランティアが集まりました。小学生の子供たちも風船配りを任せられ、お姉さんたちとボランティアを

倉敷 イオンでの登録会

毎回40名の実績を更新



しました。これは市町村や主な企業・事業所にアンケートでドナー登録の可能な献血会をピックアップしたもので、約40回の予定です。これに中核市の郡山市といわき市分を加えると70回近い登録会を実施できそうです。あくまでも予定で、すべて実現できるかは限りませんが、各保健所と協力して月に県内で5、6回は実施したいと考えています。

窓口登録も含めて、年間千人登録の大会も夢の数ではなく、なってきたように思います。私たちのボランティア活動は、行政との連携ができてこそ、その力を発揮できると感じている今日この頃です。(陽田)



北海道 J.C.とともに 砂川で17名が登録

札幌の北東80キロ、砂川市は郊外は美しい田園風景のある爽快な町です。

この砂川青年会議所(J.C.)が、今年のテーマとして骨髄バンクに応援してくれることになり、5月19日の「砂川緑と花の祭典」会場で骨髄バンクキャンペーンを企画しました。そこで、砂川J.C.を中心に北海道推進協会と財団との共催で、集団登録会を開催することとなり、砂川で初めての登録会が実現しました。



初めての地域の登録会でどれだけの成果が上がるかは大変不安でしたが、まずは知名度を上げようと幕を開けたところ、望外の17名の方が登録者として

ボランティア団体のない空白地の活動もこれから重要であり、特にJ.C.との協力は大切であると痛感しました。こうした

岐阜 声を張り上げ 屋外で献血併行登録

4月14日には大垣市のグラウンドタマコシ鶴見ショッピングセンター駐車場で、地元青年団体「大垣竹の子会」が主催した交通安全PR事業に併せた献血会に便乗して、骨髄バンクのドナー登録を行いました。

献血バスの隣にテントを張り、そこではビデオ上映と説明を行い、献血バスのひさしの下では、献血の事前検査にあわせて登録の採血をしました。すぐ隣では交通安全PR事業を盛り上げるため、地元の幼稚園児による太鼓演奏や鼓笛隊の演奏がにぎやかに行われていました。



活動は大変大きな意味を持つものと考えています。(加野)

1日になりました。また、屋外であったために電源の確保と強風には苦労をしましたが、献血者は89名、そのうち19名にドナー登録をしていただきました。(田中)

「ハローキティうちわ」が できました。

ハローキティのうちわができました。ティッシュと同じデザインの真っ赤なうちわです。普及啓発活動、募金活動にご活用ください！
原則1箱単位(250枚)でのご注文を承りますが、それに満たないご注文の場合は事務局までご相談ください。

＜静岡の会より推薦メッセージ＞

静岡ではキティちゃんうちわが好評だったのでお知らせです。
どこの場所でも予想を上回る人気で、準備していたものは直ぐになくなりました。赤いうちわが人目をひいて、可愛くて、持っている人を見てまた他の人が欲しがられるという感じでした。ドナーの啓発活動にも資金集めにも効果的だと思います。
一度使ってみてはいかがでしょうか。

【ご注文は】

地元の骨髄バンク支援団体・または「特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会」へ
〒160-0005 新宿区愛住町23-1 Woody21 9F
TEL: 03-3356-8217・FAX: 03-3356-8637

※在庫がなくなり次第終了です。

ご注文はお早めに！

